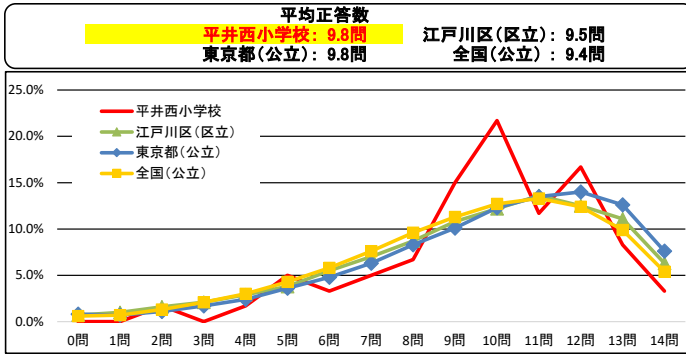


# 令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【国語】平井西小学校

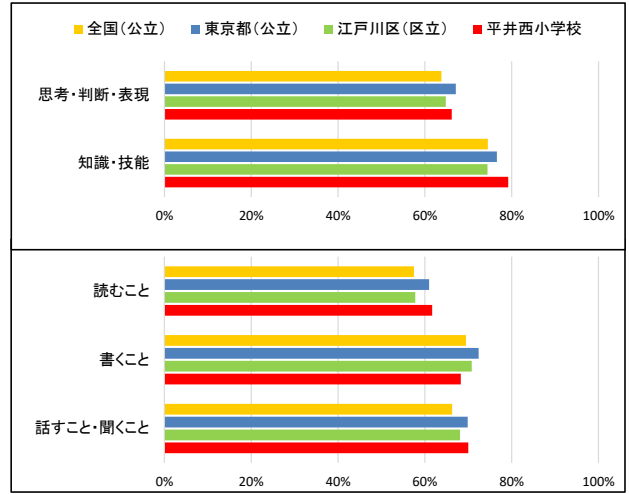
## 正答数分布



【平均正答率の差】

平井西小学校	70%
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	66.8%
都との差(ポイント)	0.0

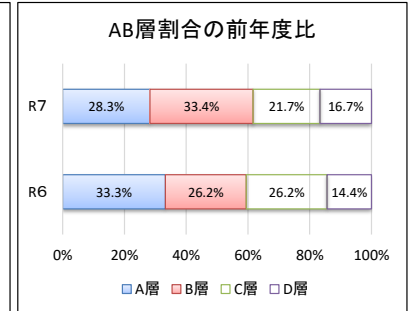
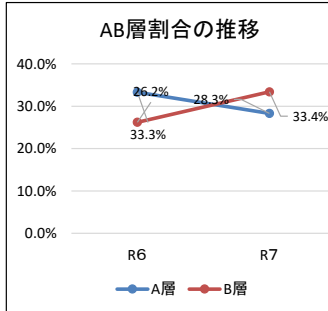
## 「領域別」の結果



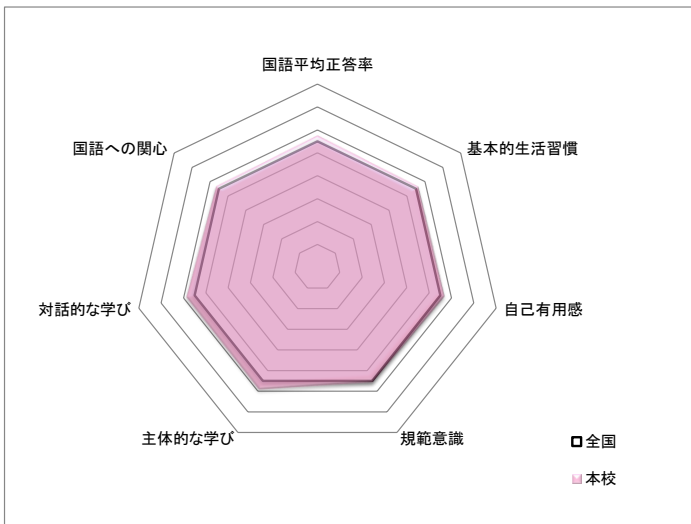
## 四分位における割合(都全体の四分位による)

国語	上位 ← → 下位			
	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
平井西小学校	28.3%	33.4%	21.7%	16.7%
江戸川区(区立)	30.0%	25.8%	19.5%	24.7%
東京都(公立)	34.4%	25.8%	18.4%	21.4%
全国(公立)	27.7%	26.0%	20.9%	25.4%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。



## 各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《チャートの特徴》

全国平均と比較して、大きく離れていない。対話的な学び、主体的な学びについては全国よりもポイントが高いことから、校内研究の成果が出ている。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・日記を書く、新聞を読む。
- ・昨年度のよむYOMUワークシートを宿題に出す。
- ・日常生活の中で、ルールやマナー、健康的で健全な学校生活を送れるよう保護者と連携・協力する。

## 《現状把握》

●AB層の割合と取組内容について  
 ・本校のAB層の割合は61.7%と、全国53.7%に比べ、約8ポイント以上上回る結果となった。また、江戸川区55.8%、東京都60.2%に比べても、上回る結果が出ている。そのため、本校のAB層の割合は江戸川、東京、全国に比べても高い結果が出ていることが分かる。一方で、領域別の結果を見ると、「書くこと」においては、全国、東京、江戸川と比べて下回る結果が出ている。

## 《学校の取組》

- ・教員の指導力向上
- ・校内研究の取り組み。
- ・授業内で学び合える時間を確保している。
- ・主幹教諭、主任教諭からの指導助言。
- ・論理的な文章を書けるようになるために、事実や根拠を順番に書けるよう指導・助言する。

## ・基礎学力の保障

- ・朝の読書タイム、よむYOMUタイム
- ・1、3学期の水曜五時間目の補習

## ・学習習慣の確立

- ・西っ子家庭ルール週間
- ・家庭学習の時間(学年×10分)
- ・タブレットを使用した自主学習の推奨

## ・AB層の育成

- ・正答数が9問、10問の児童を11問、12問にできるように、回答できなかった問題の分析し、問題の解き直し・似た問題の再取り組みを行う。
- ・個に応じた指導、ペア・グループによる学びを通じた発展的な深い学びに繋げる。